

2014(平成26)年度第1回「子ども支援ネットワークづくり」推進教員研修会

2014年度「子ども支援ネットワークづくり」推進教員研修会として、5講座を開催しました。実践を通して、学び合うことのできる有意義な講座となりました。

講座の様子を参加者の感想で振り返ります。

講座①「自主的な人権活動」を通して 子どもたちにつける力とは

○講師：錦織 厚史（三重県人教事務局）

○8月6日（水）13：30～15：00

各学校や地域ではサークル・委員会活動や、人権フォーラムなど、「子どもたちが参加・協力・体験する自主的な人権学習活動」が取り組まれています。どのような子どもたちの姿があるのか、教職員の支援のポイントは何か、事例をもとに考え合いました。



参加者の感想より

- 実践に基づく話は、共感できるし、自分の実践を振り返る場にもなったし、教え子たちの様子も思い浮かべながら、実践を見つめ直す場となり、もう一度子どもたちと活動をしていきたいと思いました。ありがとうございました。
- 出会い学習、フォーラム、フェスティバルは1つの通過点であり、自分自身を見つめること、向き合わせることが様々な課題を自分自身の課題に引き寄せることにつながると改めて思いました。日頃の丁寧な取組をしっかりとしなければならぬと思います。



講座② 外国につながる子ども・保護者から

みえてきたこと

○講師：青木 幸枝 さん（NPO 多文化共生ネットワークエスペランサ）

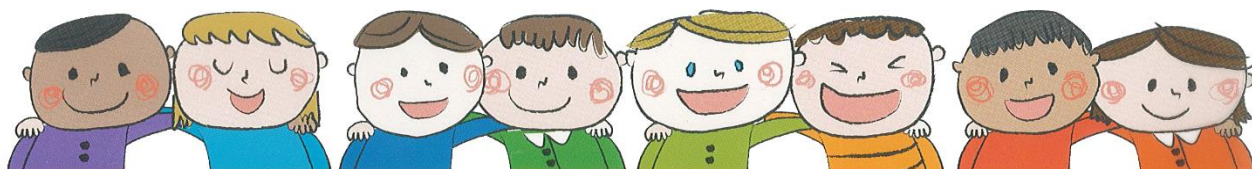
○8月6日（水）15：15～16：45

目の前にいる外国につながる子どもたちの「差別の現実」に直面し、なんとかかしたいという思いからNPO 多文化共生ネットワーク エスペランサを立ち上げた取組や、地域・保護者・学校を巻き込み、支援の輪・和を拡げてきた取組を紹介していただきました。

参加者の感想より

○親（おとな）のしんどさが子どもに反映しているのが分かったし、声を上げないと何も動かない今の世の中を変えなければと思いました。人とのつながり、ネットワークを作ることも大切だと思います。

○学校にも、うまくコミュニケーションのとれない、外国にルーツのある児童がいます。その子が“ひとりぼっち”と思ってしまうように、教師、子どもたち、保護者、地域、みんなが支え合っていきたいと改めて思いました。凄くいいお話を聞けました。



講座③ 「自分」と向き合いながら

○講師：森本 智也さん（伊賀市役所大山田支所住民福祉課）

○8月8日（金）13：30～15：00

2013年4月、異動先となった大山田で、初めて担当することになった「人権」啓発。大山田で積み重ねられてきた取組を担当するなかで、これまでにないほど「自分」と深く向きあうことになった経験を行政からの発信という形での紹介していただきました。



参加者の感想より

- 「家族への啓発をしてこなかった自分に『傍観者の意識』がある。」この言葉にドキッとしました。自分の考えをオープンにして、部落問題について話せる人を、まず隣の席の人から作っていいと思いました。大変誠実な力強い取組を教えていただき、ありがとうございました。
- 継続していくこと、話を交流し合うことで、少しずつ人の意識が変わっていくことが分かりました。自分たちも、このことを大切に地域で活動を続けていきたいと思えます。



講座④ Aとの関わりを通して

○講師：西村 奈央子 さん（桑名市立成徳中学校）

○8月8日（金）15：15～16：45

AやAの保護者（母・父・祖母）と部落問題について話し込んできたこと、また、Aが保護者の思いを知ることで自分自身を見つめ直していった姿を紹介していただきました。「真の保護者支援とは？子どもが自立をしていく取組とは？」について考え合いました。



参加者の感想より

- AやBの変容だけでなく、先生ご自身の「父母から話をいっぱい聞かせてもらうことで、Aとの関係が変わっていった」というところが心に残りました。どうもありがとうございました。
- 校内研修に悩んでいました。西村先生から参考になることをたくさん聞かせていただきました。校内全体で取り組んでいくこと、家庭訪問の大切さ、自分のことを語ることの意味など、多くのことを教えていただきました。



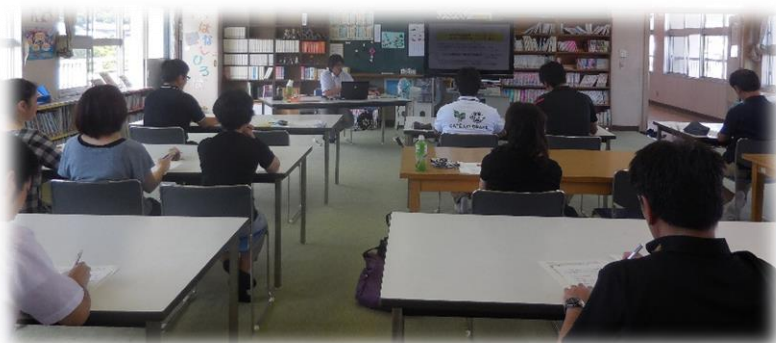
講座⑤ 子ども・保護者・地域を巻き込む

「人権・部落問題学習」の展開

○講師：増井 光自（三重県人教事務局）

○8月19日（火）9：00～10：30

子どもたちを取り巻く状況の厳しさが増す今、子どもや保護者の思いや課題を出発点にして、地域に根ざした人権・部落問題学習をするためのポイントについて考え合いました。尾鷲市にて開催しました。



参加者の感想より

○若い世代の教員が増えてきている今こそ、もう一度人権教育の原点である部落問題学習に取り組み、自分自身を見つめ直すことは重要。決して重苦しくなく、楽しく、日常的に取り組む事例は若い人には参考になったと思います。

○地域を巻き込んだ人権・部落問題学習の実例をもう少し詳しく知りたいと思いました。

